

# 教会報ほんじよ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2  
TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732  
http://www.catholic-honjyo-church.org

## INDEX

- 「春暖」  
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「稲川圭三師 銀祝の祝い」
- 「親しい人が亡くなったら、  
強くなる」  
東京カトリック神学院 院長  
稲川圭三

### 「春暖」

主任司祭 パウロ 豊島 治

四月のご挨拶を申し上げます。

春の到来を感じる現象のひとつに桜の開花があります。本所教会の桜の見ごろは受難の主日あたりかと思っていきましたが、実際はその前でした。道行く人が教会の前で足を止めて見入っています。

三月二十一日の春分の日には全国各地で司祭叙階があります。以前は三月の第一日曜に行われるのが東京教区では多かったのですが、数年前から主日のミサの重要性が指摘されましたので、主日以外に設定されることが今となってはいます。学業がおわって、復活祭前で日曜でなく、皆が参集できる日となると二十一日となります。

叙階式に必要な人はもちろん司祭と叙階者ですが、他に「呼び出し司祭」と「養成担当司祭」、そして「着付け司祭」なる方が存在します。ちなみに司教叙階式は養成担当司祭の代わりに教皇からの任命書を提示する方が登壇します。

呼び出し司祭との応答は神からの召しだしを象徴します。神がその名を呼び呼ばれた当人は行動で示します。この場合は起立し前へ進みます。もう後戻りはできない覚悟をもつことだと言われます。

養成担当は適格性を保証します。式文に書いてある通りに宣言するのではなく五年以上一緒に生活し、苦しむ姿も至らない姿も見えないで宣言でなくてはなりません。それは司祭になる方が自分という個の在り方を、もう一度じっくり見つめなおすことですから、時には自分の適性に疑いを持ち、不安になり、葛藤という気持ちの揺れが仕事や行動にあらわれます。確固たる意志をもってだけでは叙階できず、呼びかけ、応えの在りようがまた必要とされます。

着付け司祭は感動の瞬間です。どの司祭にお願いするかは受階者が決られます。「私は司祭なのだ」と自分で意識するのが司祭ならば一人で着るよう式文ができていくでしょう。でも「君は私たちの仲間だよ」と着せていたかどうかということを確認できません。



多くの人、出来事を経て誕生する司祭叙階。この実感は実際に司祭になってみないとわからないでしょう。司祭を目指したい方、遠慮なく主任司祭まで。

先日の叙階式では呼び出し司祭がコンベンツアル聖フランシスコ修道会管区長の谷崎神父様、適格性を述べたのは東京カトリック神学院の稲川圭三院長、六人いらした着付け司祭の中には東京教区司祭の稲川保明神父様、福島一基神父様がなさいました。

（ちなみに私の時は助祭叙階式のときの着付け司祭はイエズス会の英神父様、司祭叙階式のときは東京教区司祭の大原猛神父様でした。）今年の叙階式では被災した修道院への火事見舞いを仁川修道院所属の和越神父様に直接渡すことができましたことを報告します。

司祭召命には志願から叙階にかけての恵みの道と、司祭でありつづけるための問いかけと恵みの道があります。ですから司祭は単なる終身雇用の職務ではなく、絶えず祈りと願いを必要とする脆い器であります。お祈りお願いします。